

# ロスゼット<sup>®</sup>配合錠

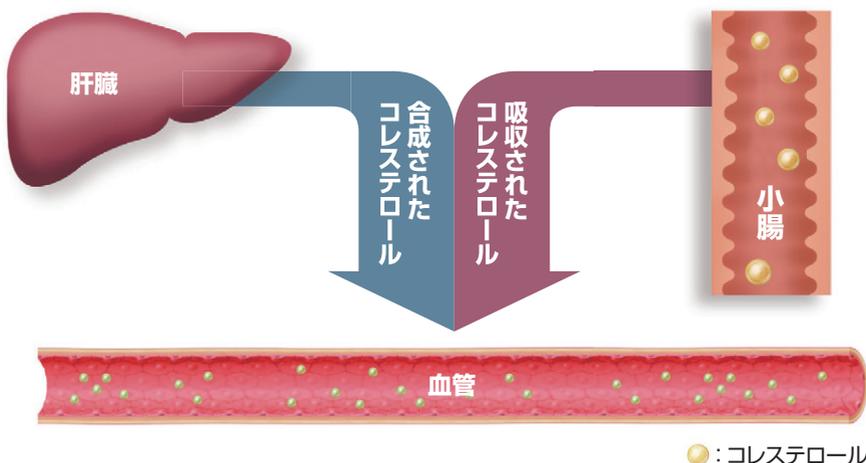
## を服用される方へ

### ロスゼット<sup>®</sup>配合錠とは

- ロスゼット<sup>®</sup>配合錠はHMG-CoA還元酵素阻害剤・ロスバスタチンと、小腸コレステロールトランスポーター阻害剤・エゼチミブの配合錠です。
- コレステロールには、肝臓で合成されるものと、小腸から吸収されるものがありますが(図)、ロスバスタチンは肝臓で合成されるコレステロールを抑え、エゼチミブは小腸から吸収されるコレステロールを抑えます。

**ロスゼット<sup>®</sup>配合錠は、この2つの作用で  
血液中のコレステロールを低下させるお薬です。**

図. コレステロールの合成と吸収



# ロソーゼット®配合錠服用時の注意

## 服用方法

- ロソーゼット®配合錠は、1日1回1錠、食後に服用してください。
- 飲み忘れた場合は、気がついたとき、寝る前までにできるだけ早く1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。
- 誤って多く飲み、異常を感じた場合は、すぐに医師または薬剤師にご相談ください。
- ご自身の判断で、薬の量を変えたり服用を中止したりせずに、必ず医師または薬剤師にご相談ください。
- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。

## 副作用について

- ロソーゼット® 配合錠の服用によって、ロスバスタチンとエゼチミブ両剤の副作用が出る場合があります。  
主な副作用として感覚鈍麻、便秘、発疹、紅斑、背部痛、四肢不快感などが報告されています。
- 重大な副作用として、ごくまれに<sup>おうもんきんゆうかいししょう</sup>横紋筋融解症※が生じることがあります。次のような症状が出た場合は、速やかに医師に相談してください。

**筋肉の痛み、手足のこわばり、  
赤褐色の尿**

※筋肉を形成する細胞が壊死・融解して、成分が血液中に溶け出す病気。  
放置すると腎不全に至る場合もあります。

- 他にも、ロソーゼット® 配合錠を服用していて体調がよくないと感じられた際は、医師または薬剤師にご相談ください。

# ロースゼット®配合錠は2種類

## ■ ロースゼット®配合錠LD

エゼチミブ10mgとロスバスタチン2.5mgを含有

ロースゼット®  
配合錠LD  
[実物大]



## ■ ロースゼット®配合錠HD

エゼチミブ10mgとロスバスタチン5mgを含有

ロースゼット®  
配合錠HD  
[実物大]



ご不明な点がございましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

医療機関名